

中核人材確保・定着環境整備支援事業 事前相談シート

※記入欄の大きさ・位置等は、適宜変更してご利用ください。下の記入例をご参考としてください。

企業名：
主な業務内容：〇〇の製造
連絡先担当者：〇〇課 〇〇 〇〇
TEL 018-.....

1 事業計画のテーマ

2 目指す姿

- (1) 経営
(どんな新しい要素で利益を上げているか等)
- (2) 人材
(従業員のありかた・社是等)

3 現状

- (1) 経営
(強み・弱み、市場の動向や貴社の位置付け等)
- (2) 人材
(現状の従業員の構成、保有スキルの状況、

4 課題

- (1) 経営
(現状の克服や解決に何が必要か)
- (2) 人材
(これまでとどう異なる、どんな専門性を持った人材が必要か)

5 課題の解決に向けた取組

- (どのような 革新性・専門性の高いことをするのか、
補助金で何を買うか／実施する予定か)
- (1) 経営
(企業の革新の手法／経営等の高度化の手法)
- (2) 人材
(人材の確保・定着・育成の手法)

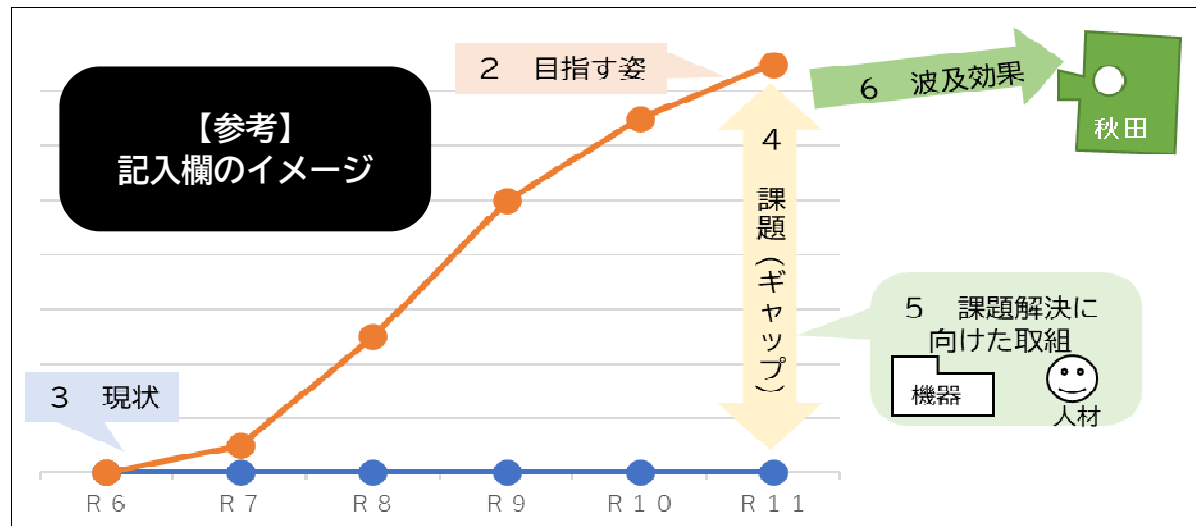
6 地域経済への波及効果

(自社の革新・高度化や、中核人材がもたらす成果により、
どのように地域経済を牽引するか)

7 事業計画の立案・見直し・実施の体制

(どの組織や会議体等で話し合うのか)

<以下：記入例> (提出時は消去してください)



1 事業計画のテーマ

【例】〇〇技術の高度化による〇〇メーカーへの成長

2 目指す姿

(1) 経営

【例】〇〇のために〇〇に参入する。〇〇で東北のトップになる。

(2) 人材

【例】〇〇〇で社会に貢献する。社員一人一人が常に〇〇で成長する。

6 地域経済への波及効果

【例】採用した中核人材を中心に、◇◇の新製品を開発し、県外からの新規受注を獲得する。この新製品の部品製造の一部を県内協力企業へ発注することで、県内製造業のサプライチェー

4 課題

(1) 経営

【例】〇〇〇という現状の強み／弱みを、目指す〇〇にするには、△△の技術・知見が必要。

(2) 人材

【例】現状の人材の状況は〇〇であることから、上記の△△を獲得するためには、□□のスキルを

3 現状

(1) 経営

【例】〇〇業界は〇〇の影響で需要が伸びている。当社は〇〇のコネクターハブの役割を担っている。当社では独自の〇〇により〇〇の顧客を獲得している。当社では〇〇を保有していない。

(2) 人材

【例】年齢構成は〇〇。〇〇の技術者が多数在籍。〇〇について専門知識を持つ者がいない。

5 課題の解決に向けた取組

(1) 経営

【例】△△の技術・知見を獲得するために・・・を実施する。

①新部門設置に必要な〇〇を購入する。

第2年度 400万円

②〇〇大学と〇〇の共同研究契約を締結する。

初年度 100万円

第2年度 200万円

第3年度 200万円

(2) 人材

【例】□□のスキルを持つ人材を確保するために・・・を実施する。

③□□の専門学部と連携した〇〇をする。

第2年度 イベント経費50万円

④□□研修を受講するとともに、社内研修体系を整備する。

初年度 研修受講料+旅費30万円

7 事業計画の立案・見直し・実施の体制

【例】・経営戦略及び人材戦略 統括：社長

立案・見直しの協議：部門長会議

・取組①～②の実施：製造部 若手技術者による特設チーム

・取組③～④の実施：総務部〇〇課